

平成 27 年度	施設名 (愛称名)	下田市立浜崎学校給食共同調理場	番号	96
----------	-----------	-----------------	----	----

平成 27 年度

# 施設評価調書

施設の名称……浜崎学校給食共同調理場

所管担当課……教育委員会学校教育課

平成 27 年 7 月

平成 27 年度
----------

施設名（愛称名）	下田市立浜崎学校給食共同調理場
----------	-----------------

番号	96
----	----

## 効 率 性

### 1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H25 年度値	H26 年目標値	H26 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数等 (食数)	125,955	106,740	118,818	94.3%	111.3%
	B 年間経費 (除く収入)	19,498,832 円	20,259,720 円	19,773,098 円	101.4%	97.5%
	B/A (円/食)	154	189	166	107.7%	87.8%
②光熱水費 (円)		3,438,845	3,412,000	3,200,995	93.0%	93.8%
③消耗品費 (円)		796,429	740,750	827,190	103.8%	111.6%
効率性指標の考え方等		年間の実施給食回数×児童・生徒数（5月1日付け在籍数）で算出。 小学校： 180回 中学校： 180回				

### 2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	
----------------	--

### 3 次年度以降への改善点(Action)

H27 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A		
	②光熱水費	3,400,000	
	③消耗品費	550,000	

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
①利用単位当たり 経費	目標値				
	A実績値				
	B実績値				
	B/A				
	対前年比				
	目標達成率				
②光熱水費	目標値 (予算)	3,400,000	3,400,000	3,412,000	3,400,000
	実績値 (決算)	3,398,901	3,438,845	3,200,995	0
	対前年比	105.5%	101.1%	93.0%	0
	目標達成率	99.9%	101.4%	93.8%	0
③消耗品費	目標値 (予算)	641,250	650,000	740,750	550,000
	実績値 (決算)	812,471	796,429	827,190	0
	対前年比	91.6%	98.0%	103.8%	0
	目標達成率	126.7%	122.5%	111.6%	0

平成 27 年度
----------

施設名（愛称名）	下田市立浜崎学校給食共同調理場
----------	-----------------

番号	96
----	----

#### 4 その他の指標

	区 分	説 明	単 位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
受益者負担 の適正性  ※調理にかかる 費用は公費負担 ※食材費は全額 保護者負担	①使用料原価	徴収分の年間経費 (食材費)	円	33,176,000 円	32,613,900 円	30,943,000 円
	② 稼動割原価率	年間経費を年間収入で 賄えない比率	%	0%	0%	0%
	③ 1 m <sup>2</sup> 1 時間 適正使用料	① ②	円	0 円	0 円	0 円
	④ 現行 1 m <sup>2</sup> 1 時間使用料 の平均					
	⑤適正化計画					

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度(予算)
	人口 (4 月 1 日 : 人)		24,515 人	24,230 人	23,864 人	23,444 人
	人口 1 人あ たり (円/人)	運営経費 (収入除く)	808	804	828	840
		年間総経費	808	804	828	840

平成 27 年度	施設名 (愛称名)	下田市立浜崎学校給食共同調理場	番号	96
----------	-----------	-----------------	----	----

## 利用者満足度調査

実施の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	調査の方法	アンケート・意見交換	H26 年度調査数	0 件
○ 学校給食運営審議会での試食会にて実施 (平成 26 年度アンケート未実施の為記載なし)					
1 調査結果					
設問	回答種類	H25 年度回答数 (21 件)		H24 年度回答数(26 件)	
給食の分量について	1: 少ない 2: やや少ない 3: 普通 4: やや多い 5: 多い	1: 0% 2: 0% 3: 76.2% 4: 19.0% 5: 0% 回答なし: 0%	1: 0% 2: 11.5% 3: 84.6% 4: 0% 5: 0% 回答なし: 3.8		
味付けについて	1: 薄い 2: やや薄い 3: 普通 4: やや濃い 5: 濃い	1: 0% 2: 19.0% 3: 61.9% 4: 19.0% 5: 0% 回答なし: 0%	1: 0% 2: 3.8% 3: 76.9% 4: 15.4% 5: 0% 回答なし: 3.8		
彩りについて	1: 悪い 2: やや悪い 3: 普通 4: やや良い 5: 良い	1: 0% 2: 14.3% 3: 57.1% 4: 9.5% 5: 19.0% 回答なし: 0%	1: 0% 2: 7.7% 3: 57.7% 4: 15.4% 5: 15.4% 回答なし: 3.8		
全体について	1: 悪い 2: やや悪い 3: 普通 4: やや良い 5: 良い	1: 0% 2: 0% 3: 81.0% 4: 4.8% 5: 14.3% 回答なし: 0%	1: 0% 2: 3.8% 3: 38.5% 4: 38.5% 5: 15.4% 回答なし: 3.8		
家庭との分量と比べて	1: 少ない 2: やや少ない 3: 普通 4: やや多い 5: 多い	1: 4.8% 2: 9.5% 3: 66.7% 4: 9.5% 5: 9.5% 回答なし: 0%	1: 11.5% 2: 46.2% 3: 38.5% 4: 0% 5: 0% 回答なし: 3.8		
給食だより等を家庭でもご覧になりますか	1: 見ない 2: あまり見ない 3: 見る 4: やや見る 5: よく見る	1: 9.5% 2: 0% 3: 33.3% 4: 23.8% 5: 23.8% 回答なし: 9.5%	1: 3.8% 2: 19.2% 3: 34.6% 4: 23.1% 5: 15.4% 回答なし: 3.8		
アンケートの記入欄: 給食審議会試食会での意見交換より ・食器がトレイのため、お茶碗を持って食べる事ができない。できれば茶碗、汁椀と個々の食器を使用したい ・南伊豆町では陶器の食器を使用しているが、破損頻度が高い。また、子供が運ぶには重たい等の課題がある。 新設の給食センターの食器には、プラスチックのような食器の導入が検討されるのでしょうか。					
2 調査結果から読み取れること					
学校給食は子どもにとって、栄養を考えた食事内容であり、児童・生徒の見本となる食事形態である。 保護者についても、試食会等を通じて学校給食の意義や内容について理解を得ることができる。					
3 次年度以降への改善点					
現在使用している食器は学校毎に種類が異なっており、現状の施設では保管スペースなどの問題があるため 個々の食器使用が困難。平成 28 年度からの給食センターでは、食育の観点から茶碗・汁椀の導入を予定。					

## 施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考 (修繕済年度等)
H26	ガスブースター (洗浄機) 修繕	116,597 円		H26 年 修繕済み
H26	保管庫修繕	72,360 円		H26 年 修繕済み
H26	給食車修繕	146,880 円		H 26 年 修繕済み

### ※今後想定される維持管理事項

調理機器関係 (食器乾燥保管庫・食器洗浄機等) は、調理場開設当初より使用しているため、修繕が必要となった場合には、交換する部品等が入手不可となっている。

平成 28 年度より給食センターの運営を予定しているため、最低限の修繕、備品の購入のみ。

**管理運営上のその他評価項目**

<p>当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性</p>	<p>成長期の児童・生徒への給食提供は、望ましい食習慣・食の重要性を学ぶための教育の一環であるため、施設の設置は必要である。 ただし、現在の調理場の衛生管理基準は、文部科学省の基準に示されたものとは異なり、汚染区域・非汚染区域などの基本的な区分がされておらず、適切な衛生管理ができない状況であるため、平成28年度より新給食センターの運営を予定している。</p>
<p>民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性</p>	<p>新給食センターの場合には、調理・配送についての委託は可能である。但し、委託をした場合には、大量調理のノウハウや文部科学省の衛生管理基準に基づいた衛生管理ができる業者としたい。 なお、献立作成や食材の購入管理等については、委託者側で管理を行うので問題はないと考える。</p>
<p>施設の管理運営と経費の妥当性</p>	<p>市内に同様の給食施設が4施設(浜崎・稲生沢・朝日・下田)あるが、全ての施設において老朽化が激しく、調理機器に対しても対応年数を過ぎたものを使用している。 調理機器については、部品等が製造終了になっているものも多く、修繕等ができず新規購入をせざるを得ない状況である。  また、正規職員の退職不補充のため、1名の正規職員に対し経験の浅い臨時職員のため、作業工程においても時間がかかる傾向にあり、両者に対しても過重労働となっている。</p>
<p>施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性</p>	<p>学校給食は、保護者からは食材費のみを徴収しており、人件費・光熱水費などについては、公費負担となっている。 給食費の会計を透明化するためにも、現在の私会計ではなく公会計化を検討。</p>
<p>その他の管理運営上の課題</p>	<p>正規職員の退職及び配置。臨時職員の管理等。 給食センターの運営方法について (直営・委託)</p>
<p>【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等</p>	<p>賀茂管内の学校給食施設については直営方式だが、伊豆市・伊豆の国市・三島市等では、調理から配送までを民間委託。 河津町では、下田市と同様に正規職員1名の他、臨時職員で対応。 東伊豆町では、臨時職員のみで調理から配送までの業務を実施。</p>

**平成 年度 実施運営事業内容**

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

平成 27 年度

施設名 (愛称名) 下田市立浜崎学校給食共同調理場

番号 96

**施設の概要**

1 施設名 (愛称名)	下田市立浜崎学校給食共同調理場		2 担当課 担当係	学校教育課 学校教育係				
3 所在地	下田市須崎 1 7 8 5 番地の 1		4 設置年月	昭和 48 年 1 月 年 月 日開設				
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ. 人が輝くまちづくり		未来の人づくり		学校教育			
	基本目標		自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」					
	基本目標を実現 するための施策		項目 共同調理場整備事業		内容 学校給食センター統合新築			
6 設置目的	児童・生徒に対し、安全な給食提供の実施。食を通じた教育の一環であり、食事の重要性について理解を導くこと。							
7 設置根拠	下田市立学校給食共同調理場設置条例							
8 施設の概要	施設の概要		昭和 4 7 年 1 1 月竣工 建築面積 253 m <sup>2</sup> 鉄骨一階建					
			平成元年 1,200 食 平成 8 年 800 食 (O-157 の関係)					
	実施事業 の概要		平成 27 年度					
			白浜小学校 85 食	下田中学校 244 食				
	浜崎小学校 104 食	下田東中学校 120 食						
	小学校計 189 食	中学校計 364 食						
	合計 : 553 食							
	料金体系		料金区分	給食費 (給食会計) 平成 2 1 年 3 月改定				
小学校 月額 4,200 円 中学校 月額 5,000 円								
主な料金			種別	単位	昼	夜	昼夜	備考
減免内容								
		利用料金制度 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
施設運営 方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営						
		<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →		指定管理者				
		<input type="checkbox"/> 一部委託 →		委託内容				
直接従事職員		正規調理員 : 1 名 臨時職員 : 6 名						
9 市内の 類似施設	下田市所有	共同調理場 (浜崎・稲生沢) 2 箇所 単独調理場 (下田・朝日) 2 箇所						
	民間所有							

平成 27 年度

施設名（愛称名） 下田市立浜崎学校給食共同調理場

番号 96

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 27 年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 31 年	
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費		建物減価償却後残高	1 円			
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債		市債残高	0 円			
	一般財源 寄附金等						
物品(* 万円以上)		物品減価償却後残高					
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H24 年度決算	H25 年度決算	H26 年度決算	H27 年度予算	
	収入						
	入 合 計						
	支出	2 節 給与	3,746,850	3,409,475	3,533,325	3,601,500	
		3 節 職員手当等	1,352,246	1,163,958	1,230,523	1,198,500	
		4 節 共済費	1,006,701	911,278	973,627	970,000	
		7 節 賃金	8,413,437	8,491,297	8,500,434	9,199,000	
		9 節 旅費	0	0	0	0	
		11 節 需用費	4,837,801	4,824,898	4,953,705	4,109,000	
		12 節 役務費	240,808	263,328	250,153	281,470	
		13 節 委託費	17,955	17,955	18,468	19,000	
		14 節 使用料及び借地料	14,910	238,782	242,155	200,000	
		18 節 備品購入費	134,004	120,361	13,208	78,000	
		19 節 負担金補助及び交付金	26,000	26,000	26,000	26,000	
		27 節 公課費	31,500	31,500	31,500	32,000	
		支出合計		19,822,212	19,489,932	19,773,098	19,714,470
	減価償却費		0 円	0 円	0 円	0 円	
	市債利子		0 円	0 円	0 円	0 円	
	職員人件費						
	下田市負担年間総経費		19,822,212 円	19,498,832 円	19,773,098 円	19,714,470 円	
備考							
12 施設利用状況等の推移	利用状況	年度（基準日）	H24. 5. 1	H25. 5. 1	H26. 5. 1	H27. 5. 1	
		利用者数	小学校	229 人	202 人	190 人	189 人
			中学校	401 人	411 人	403 人	364 人
			幼稚園	12 人	15 人	0 人	0 人
	合計		642 人	628 人	593 人	553 人	
	参考：利用単位当たり市負担額		30,875 円/人	31,049 円/人	33,344 円/人	35,650 円/人	
	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数						
休日	祝祭日、土日、夏季、冬季、春季休み						
勤務時間	正規職員：8:00～16:45 臨時調理員：8:30～15:30 臨時運転手(調理兼務)：8:30～15:30						

(参考資料)